

第2期垂水市DX推進計画【概要版】

背景と目的

地方自治体は、少子高齢化による急速な人口減少の進行に直面しており、今後は職員数を維持することが困難になる恐れがあるため、安定的に行政サービスを提供するには、先進的なデジタル技術を活用した業務効率化や利便性の向上とともに、組織の在り方を変革する自治体DXの推進が求められています。このような背景を踏まえ、本市はより効果的にDXを推進し、デジタルの力で市民の暮らしを豊かで便利にするとともに、地域社会の課題解決や新たな価値の創造につなげていくため、「第2期垂水市DX推進計画」を策定します。

位置づけ

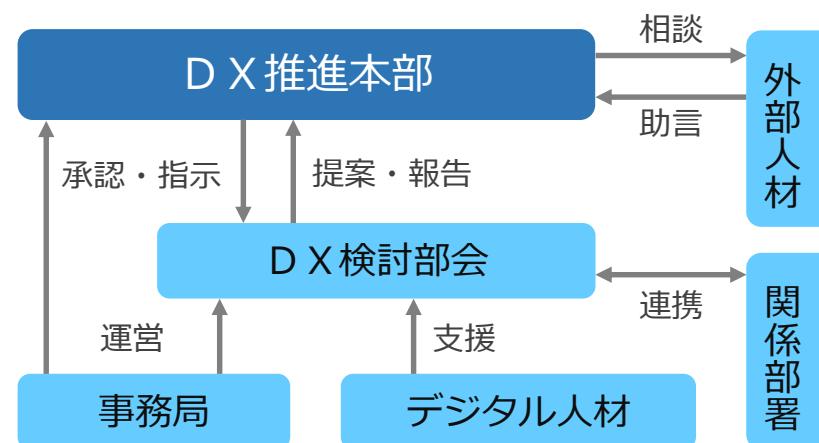
総務省の「自治体DX推進計画」や関係法令等を反映するとともに、本市の最上位計画である「第6次総合計画兼第3期総合戦略（令和7年度～令和16年度）」の基本構想、基本計画及び総合戦略に基づく分野別計画として位置づけます。

期間

令和8年度から令和12年度までの5年間。

推進体制

DXに係る施策を総合的かつ計画的に推進し、市民サービスの向上や行政運営の効率化を図るため、DX推進本部やDX検討部会などの関係機関が連携しながら各施策を推進できる全庁横断的な推進体制を構築しています。



垂水市DX推進計画における「3つの基本方針」と重点取組施策

方針
1

市民サービスのデジタル化による利便性向上

市民が安心安全に利用できる行政サービスを提供し、利便性の向上と行政手続きの簡素化・迅速化を目指します。

- 1 フロントヤード改革の推進
- 2 マイナンバーカード利用促進
- 3 公金収納の多様化
- 4 行政手続きのオンライン化
- 5 情報発信の強化

方針
2

デジタル技術を活用した地域社会の課題解決

全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できる便利で豊かな暮らしを実現するため、誰一人取り残さない地域社会の実現を目指します。

- 1 デジタルデバイド対策
- 2 デジタル防災対策
- 3 デジタルによる地域活性化
- 4 オープンデータの活用推進

方針
3

持続可能な行政運営を実現するための業務効率化

デジタル技術の活用により、業務の効率化や生産性の向上を図り、持続可能な行政運営を目指します。

- 1 AI・RPAの利用促進
- 2 ペーパーレス化の推進
- 3 セキュリティ対策の徹底
- 4 BPR（業務改革）の推進
- 5 デジタル人材の育成・確保

第2期垂水市DX推進計画【概要版】

フロントヤード改革の推進

- **目指す姿** NEW
 - 「書かない窓口」を本格導入し、申請者の手書負担を軽減します。
 - 「待たない窓口」を実現し、来庁者の滞在時間を削減します。

マイナンバーカードの普及促進・利用推進

- **目指す姿**
 - マイナンバーカードの普及促進により、市民の利便性向上や窓口の混雑緩和を図ります。
 - 本人確認が必要な行政手続きの利活用を推進します。

公金収納の多様化

- **目指す姿**
 - サービスを安定運用するとともに、現金収納に限られている手続きのキャッシュレス化を推進し、住民サービスの向上と事務負担の軽減を図ります。
 - キャッシュレス決済を推進し、市民への定着を図ります。

行政手続きのオンライン化

- **目指す姿**
 - 申請者の利便性向上と行政運営の効率化を図るため、原則全ての行政手続きをオンライン化します。

情報発信の強化

- **目指す姿**
 - デジタル広報媒体を活用し、施策方針や市民目線に立った情報発信の充実を図るとともに、事務負担と印刷コストを削減します。
 - 必要な人に必要な情報を分かりやすく速やかに伝達します。

デジタルデバイド対策

- **目指す姿**
 - 誰もが平等にデジタル化の恩恵を受けられる社会を目指すため、市民のデジタルリテラシー向上やインフラ整備に取り組みます。

デジタル防災対策

- **目指す姿** NEW
 - 災害時の通信・情報管理体制を強化し、迅速かつ効果的な防災・減災対策を実現します。

デジタルによる地域活性化

- **目指す姿** NEW
 - 地域に先端技術を導入し、地域の課題解決と活性化を図ります。
 - デジタルを活用し、歴史、文化、自然環境などの価値を高めます。

オープンデータの活用推進

- **目指す姿** NEW
 - オープンデータの公開により、市政の透明性・信頼性の向上を図るとともに、地域経済の活性化や地域課題の解決に繋がります。

重点取組施策

市民サービスのデジタル化

地域社会の課題解決

持続可能な行政運営

NEW 第2期からの新規施策

AI・RPAの利用促進

- **目指す姿**
 - AIの利用促進及び有効活用により、業務効率化と業務負担の軽減を図ります。
 - AIやRPAの利用して事務処理時間を短縮することにより、人的資源を市民サービスや政策立案などに振り向けて自治体運営の最適化を図ります。

ペーパーレス化の推進

- **目指す姿**
 - ペーパーレス会議を全庁的に推進し、業務負担の軽減と労務・紙資源のコスト削減を図ります。
 - 会議資料や決裁文書などの行政文書を電子化し、業務効率化と意思決定の迅速化を図ります。

セキュリティ対策の徹底

- **目指す姿**
 - 国のガイドラインやセキュリティポリシーに基づき、セキュリティ対策を強化し、セキュリティインシデント（セキュリティ上の脅威となる事象）を防止します。

BPR（業務改革）の推進

- **目指す姿** NEW
 - 市民サービスの向上と業務効率化を図るため、現状の業務フローを可視化し、業務プロセスを最適化します。

デジタル人材の育成・確保

- **目指す姿** NEW
 - 自治体DXを推進するため、職員にDXの重要性や意義を浸透させて意識改革を図るとともに、AIやRPAなどのデジタル技術を有効活用できる人材の育成・確保を推進します。